

授業科目名	【G】	研究会 I・II	区分	必修	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	商法の理解を深めよう。				担当者	清水 太郎		
授業概要	【概要】	本ゼミにおいては、一人一人の学生が興味ある商法分野からテーマを一つ選んでいただき、それについて一年間、深掘りしていただきます。判例・論文・雑誌等の資料にあたり、精読し、レポートにします。						
	【到達目標】	学生が自分で選択したテーマについて、誰よりも詳しく説明できるようになってください。						
履修条件	商法関連科目を履修していること。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	商法関連科目							
教科書	特にありません。							
参考書	特にありません。							
評価方法	報告内容およびレポート(50%)、議論参加度(50%)							
フィードバック方法	学生の報告内容や作成したレジュメについて、適宜コメントします。							
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた学生は「S」または「A」とし、単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある学生はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な学生はその程度に応じて「D」または「E」とします。評価不能な場合は、「F」とします。							

授業 科目名	【G】 研究会 I・II	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		必 修				
授業内容	<p>【ゼミ内容】 本ゼミでは、商法に関連するテーマを深掘りします。一人一人の学生がこれまで学習した中で、どのような点に興味を持ったかや、面白かった判例等を振り返ってください。</p> <p>【ゼミの進め方】 第1回：オリエンテーション。必要事項の説明等。 第2回～第15回：担当者の報告や学生同士または学生と教員の議論。レポートの提出。 その他：場合によっては、法的思考力を養うためのディベートを行います。また、資料の探し方等も復習します。</p> <p>【AL】 学生の積極的な参加を期待します。 なお、この科目では、学修の様々な場面で履修者どうしの相互評価を行います。たとえば、ある人が作成した資料について他の履修者に改善提案をしてもらったり、授業中の報告(発表)を聞いた人たちにその報告の出来栄を採点してもらったりしますので、自分が資料作成や報告を担当しない回も含めて、常に主体的な姿勢で学修に取り組む必要があります。</p>					
予習内容	<p>必要に応じて指示しますが、学生は、テーマに関連する資料収集、精読等を行ってください。 ゼミごとの予習時間は90分程度を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>必要に応じて指示しますが、学生は、①ゼミ中に分からなかった単語を調べたり、②議論の内容を顧みたりしてください。また、③教科書等を再読して理解を深めてください。 ゼミごとの復習時間は90分程度を目安としてください。</p>					
その他	<p>特にありません。</p>					